

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	04	01	07	0409	ハヤチネウスユキソウ誕生80年記念事業費	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	2	自然環境の保全			
目的	高山植物の保護と交流人口の増加					
対象	ウスユキソウを保護している自治体、市民、登山者					
意図	高山植物の保護を呼びかけるとともに、大迫地域の魅力を発信し交流人口の増加を図る					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
1 シンポジウム・式典 (1) 式典オープニングイベント 大迫アルプホルン (2) 基調講演会 「高山植物から環境へのメッセージ」50分 岩手県立大学総合政策学部教授 渋谷 晃太郎 氏 (3) シンポジウム (パネルディスカッション) 110分 北海道礼文町、北海道島牧村、長野県宮田村、花巻市 (4) 記念メッセージ朗読 群馬県みなかみ町、群馬県片品町、早池峰愛護少年団 2 交流会の開催 歓迎レセプション・交流会 18名 早池峰交流登山の実施 17名						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 入場者数	人	計画			200	
		実績			160	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①		目標				
		実績				
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	<input type="radio"/>	目標値より低い	<input type="radio"/>

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
全体的な実施計画が遅れたことから、事業実施の告知が遅れたことにより、実績が計画を下回る結果となったが、環境保全団体やエーデルワイスクラブなど、環境問題に関心のある方がの参加が多く見られ、高山植物保護への意識の高揚が図られた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市の花であるハヤチネウスユキソウ誕生80年を記念し、その魅力と価値について、広く市民の方に再認識していただくとともに、高山植物の保護について理解を得ることが主目的であることから、市が共催することは妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	実施時に関係団体(山岳会・グリーンボランティア)等に協力を依頼し、広く高山植物の保護の呼びかける必要がある。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、講師報償費、参加自治体への費用弁償、会場設営等委託料等が大部分をしめていることから、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/>	
	人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	高山植物の保護、大迫地域の魅力を発信及び交流人口の増加が図られるので、公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/>	
	費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
ウスユキソウが取り持つ縁として、礼文町・島牧村・宮田村と新たな交流が図られた。環境保全・自然保護等の情報を共有することで、各自治体で意思疎通が図られた。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 藤原 正己 内線 9-20-220

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0409	ハヤチネウスユキソウ誕生80年記念事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,267		1,267
財源内訳	国・県				
	地方債		500		500
	その他		735		735
	一般財源		32		32

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境の保全に努める

事業開始の背景・経緯

花巻市の花であるハヤチネウスユキソウは、早池峰山の固有種として誕生し80年を迎えるにあたり、ハヤチネウスユキソウの保護に対する市民の理解を深めるため、うすゆきそうサミットを開催した。

事業概要

- シンポジウム・式典
 - 式典オープニングイベント 大迫アルプホルン
 - 基調講演会 「高山植物から環境へのメッセージ」 50分
岩手県立大学総合政策学部教授 渋谷 晃太郎 氏
 - シンポジウム (パネルディスカッション) 110分
北海道礼文町、北海道島牧村、長野県宮田村、花巻市
 - 記念メッセージ朗読
群馬県みなかみ町、群馬県片品町、早池峰愛護少年団
- 交流会の開催
歓迎レセプション・交流会 18名
早池峰交流登山の実施 17名

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

事前告知が遅かった。
関係団体との協力が無かった。

《事業手法の詳細》

○うすゆきそうサミット開催
ハヤチネウスユキソウ誕生80周年を迎えること、ベルンドルフ市との姉妹都市締結50周年を迎えることから開催するもの。サミットを通じて、市内外の方に高山植物の保護について理解してもらうことが目的。

1日目：うすゆき草サミット IN はなまき (予定：H27.7.11 (土) 大迫活性化センター)

- シンポジウム・式典
 - 式典オープニングイベント 大迫アルプホルン
 - 基調講演会 50分
岩手県立大学総合政策学部教授 渋谷 晃太郎 氏
 - シンポジウム (パネルディスカッション) 110分
北海道礼文町、北海道島牧村、長野県宮田村、花巻市

3. 交流会の開催

2日目：早池峰交流登山 他

- 早池峰登山
- 花巻市文化財センター ~ 神楽の日公演

【事業費】	1,267	(千円)
報償費	124	
旅費	151	
需用費	15	
役務費	47	
委託料	930	
使用料及び賃借料		